

① 食育月間の取組

<p>提出都道府県名 政令指定都市名</p>	<p>滋賀県愛知郡愛荘町</p>
<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>愛荘町給食センター</p>
<p>取組の名称</p>	<p>食育だよりの配布</p>
<p>実施時期</p>	<p>6月</p>
<p>取組内容に該当する 食育ピクトグラム</p>	
<p>取組内容</p>	<p>・「食育だより」を幼稚園、小中学校へ配布し家庭等へ啓発</p>  <p>The flyer titled '食育だより' (Food Education Newsletter) for June 2023 features the following content:</p> <ul style="list-style-type: none"> Header: 令和5年 6月 (Reiwa 5th Year June) Main Title: 6月は「食育月間」です! (June is 'Food Education Month'!) Section: 学校の食育の6つの視点 (6 Perspectives on School Food Education) <ul style="list-style-type: none"> 食事の重要性を知る (Learn the importance of eating): 食事も人生で大切な大切なこと。自ら調理し食事の準備をすることができるといい。 心身の健康を育む (Nurture mental and physical health): 栄養バランスのとれた食事や食べ方を学び、よりよい食習慣を形成しようとする力をつける。 食品を選択する力をつける (Build the ability to choose food): 食べ物に関心を持ち、品質や衛生、栄養価など総合的に判断し、適切に選択できる。 感謝の心でいただく (Receive with a grateful heart): 食料が自然の恵みのうえに成り立ち、多くの人の力に支えられていることを知り、感謝して食べることが出来る。 社会性を養う (Cultivate social skills): 協力して準備をしたり、マナーをよく覚えることは相手への思いやり、楽しい食事につながることを理解する。 食文化を未来に伝える (Pass on food culture to the future): 学校や行事にちなんだ食事があることを知る。地域の歴史や食土に誇りやかわりがあることを理解し、尊重できる。 Section: もったいない! 食べ残し (Don't waste! Leftovers) <p>現在、日本では食料の廃棄や食べ残しが大きな問題です。農林水産省の2018年産30年産の統計によると、食べ残されるのに捨てられてしまった「食糧ロス」の量は、1日1人あたり約130gです。これは約1人1軒分の食糧ロスを1億2千万人が毎日捨てている量に相当しているのです。食糧に感謝の心を持ち、食べ残さず食べきることは食文化の根幹にあり、守られるべき食文化です。これは給食調理に携わっている方にも共通のことです。食べ残さず食べきる習慣を身につけたいですね!</p> Bottom Section: 5月の食育の日「食べ残さず大勝しよう」を目標に、食糧ロスについて知らせ、食べ残さないで食事を済ませるのもにもチャレンジし、食糧ロスを減らそうと小学校の子ども達に呼びかけました。小学校のみんなに食糧ロスを紹介しました。 <ul style="list-style-type: none"> 愛荘川小学校 (6年1組、3年1組より) <ul style="list-style-type: none"> 1ヶ月に1.2トンの食糧があるって聞いた。給食を残してしまうことが多いので減らさず食べて食糧ロスをなくしていこうと思った。 5割について学ぶことができた。食糧ロスって言葉も初めて聞いた。 愛荘川小学校 (6年1組より) <ul style="list-style-type: none"> たかさんのお話しが面白かった。 食糧ロスがあるのはもったいないと思った。 栗笠原小学校 (6年1組より) <ul style="list-style-type: none"> 食糧ロスは日本でもとても多いことが分かりました。食糧ロスがいけないことだと分かりました。 食糧を食べてくれた人に感謝しながら、給食を残さず食べて食糧ロスをなくしたいです。 栗笠原小学校 (5年1組より) <ul style="list-style-type: none"> 食糧ロスがたくさんあって驚きました。 食糧ロスで13トンも食べられるものが捨てられているなんて、驚きすぎて食べたいと思いました。